

2018年度 水俣学講義
政府の公式見解から50年

水俣学への招待： 水俣病事件の歴史と現在

熊本学園大学
水俣学研究センター
花田昌宣

0

自己紹介

- 熊本学園大学 水俣学研究センター長
- 社会福祉学部福祉環境学科教授
- 大学院社会福祉学研究科教授
- (社福) くまもと障害者労働センター理事長
- 熊本県部落解放研究会会長
- 水俣病との出会いは1974年
- 原田正純先生と「水俣学」を構想し、構築中。

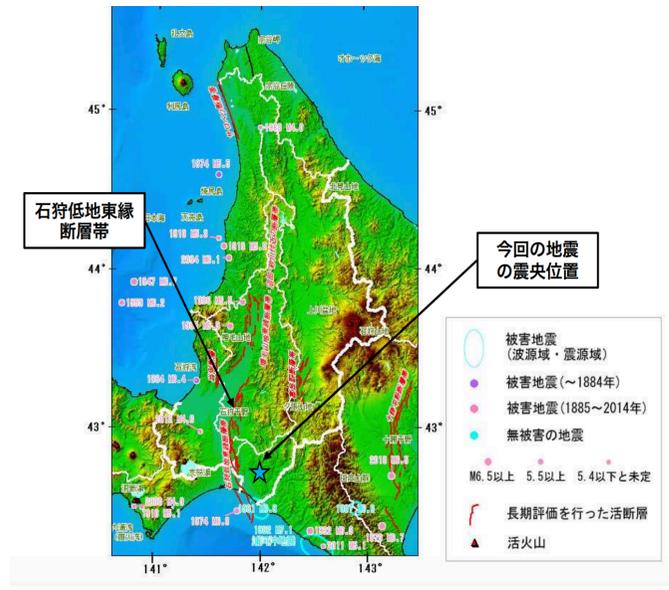
2

本日お伝えしたいこと

人類の経験した公害，水俣病の負の遺産（失敗の経験）に学び，将来に活かす

- ▶ 水俣病の60年の歴史を学びなお残されている課題を理解すること：被害者の60年の苦難の歴史
- ▶ 水俣病という公害が，学校の中で習った過去の問題ではなく，いまなお終わっていないこと
- ▶ ひとりひとりの暮らしのあり方を考え直すきっかけを得ること

1



3

水俣学の経験と2016年4月熊本震災

- 熊本震災のただ中から：被災の現実
- 自然現象としての災害と被災：災害とは何か「天災は不可抗力、災害現象は軽減できる」（寺田寅彦）
- 災害は社会のあり方を表す



水俣病62年 歴史の重みと今日の課題

- 水俣病発生の公式確認は1956年5月1日。



- ☆ 最初は動物が発症
- ☆ もし、このとき気がついていれば
- ☆ 漁民に対する差別心はなかったか

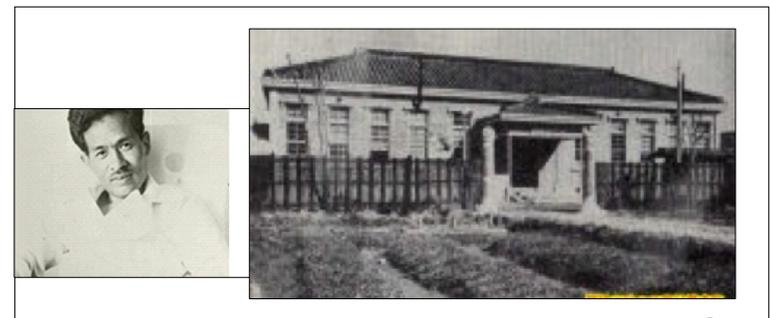
最近の災害 自然災害と環境・公害被害

- ☆ 2016年4月14-16日熊本地震
- ◎ 2017年7月北部九州豪雨災害 朝倉・日田
- ☆ 2018年6月18日 大阪北部地震 震度6弱
- ◎ 2018年7月広島・岡山豪雨災害
- ◎ 2018年9月台風21号 近畿地方
- ☆ 2018年9月6日 北海道胆振東部地震

何が不可抗力で何が防ぎ得たのか、公害事件から災害を見る視点も大事

水俣病発生の公式確認

1956年5月1日 新日窒付属病院細川一院長が、原因不明の疾患発生と水俣保健所に届け出 田中静子・実子姉妹の発症



水俣病の政府公式見解から50年

1968年9月26日 水俣病発生に関する政府見解

「内容」と「意義」

書かれていないことは？

果たして、記念すべきことなのか

別添 配布資料 参照

8

1956年から1968年 なぜ12年も？

9

そして、なぜ、今、MINAMATA

正式発見から62年を経過している。
2004年最高裁判決によって行政責任が認められ、
2013年国の認定基準の過ちも認められ、
行政の水俣病病像、認定制度や救済策が破綻した。
しかし 水俣病患者の苦悩と苦闘は続いている

風化させないために、
今、検証して未来へつなぎたい。

10

なぜ、現在も水俣病の被害があるのか

(1) 申請者数の推移：水俣病の新規発生？

1971年 100名余り

現在 認定患者 2280名

被害救済給付対象者数 6万人あまり

推定合計 10万人を下らない

(2) 新たな水俣病患者とは誰か

(3) なぜ、現在も増え続けるのか

- 差別と偏見をおそれ隠れている

11

【水俣病とは 1】

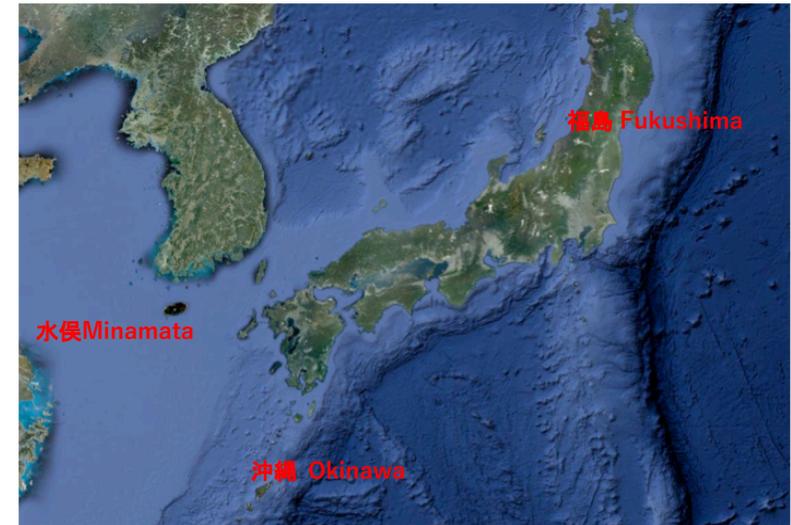
それまで人類が経験したことの無い公害事件

【環境汚染による公害病】 一企業(チッソ)が、産業活動によって生み出された有機水銀を含む有害物質を、不知火海に未処理のまま大量に排出し、環境を汚染し、食物連鎖を経て、人体に取り込まれて起きた公害病

【身体的被害】 環境汚染が、重篤で大規模な人体被害をもたらしたものの。中枢性の神経疾患が主要症状である。

12

水俣とはどこにあるか：
東京（中央）と水俣（地方） 国家による差別



【水俣病とは 2】

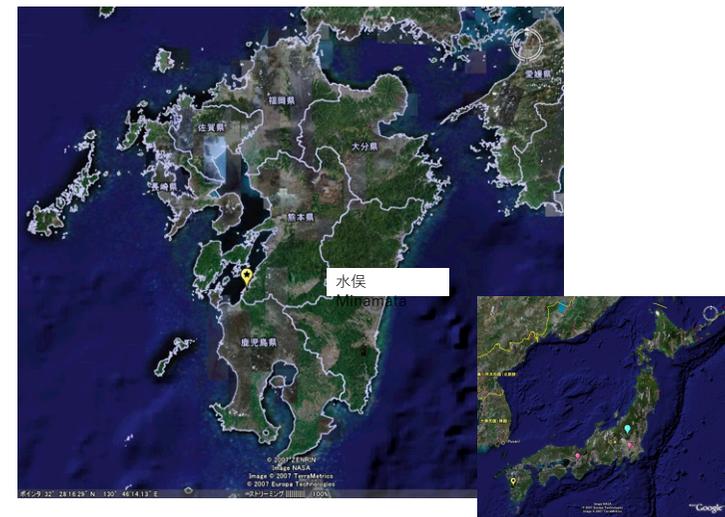
【胎児性水俣病】 胎盤を通して汚染、水俣病という障害を持って生まれてくると言う被害がもたらされるといふ未曾有の経験もしました。

【汚染の広がり】 汚染そして被害は、水俣湾から対岸の島々まで不知火海全体に広がっている。

【被害者数は？】 国の基準で認定された人、国の基準を満たさないが健康被害を受け、医療給付を受けている人、認められないまま亡くなった人、まだ隠れている人…… **全体像は不明!!!**

13

水俣とはどこにあるか:県庁からも遠い





△: 海面浮いた魚
 ★: 狂い死にした猫
 ●: 水俣病認定患者
 (人口 1960s)

原田正純氏作成地図を改作_宮北隆志

チッソの百間排水口の水銀ヘドロ (1970年代)



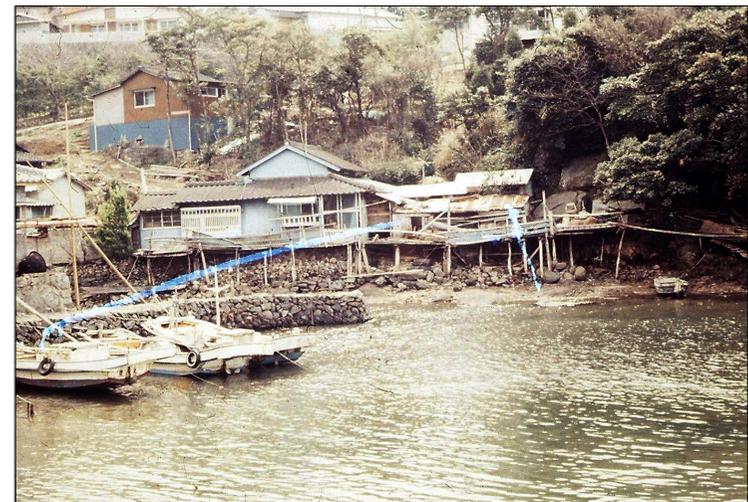
ここから工場の廃水が無処理で排出され汚染が拡大した

昭和52年

水俣病の発生と被害の拡大

- ▶ チッソ（株）による有機水銀を含む有毒廃水の無処理放出
- ▶ それによる海の汚染、
- ▶ 魚貝類の汚染と流通、摂食
- ▶ 行政の放置：規制しなかった
- ▶ 健康被害と差別の目

1956年5月1日に報告された患者自宅



この子は宝子です



上村智子さん 21才で他界
水俣病患者は不幸か
(相模原事件は?)



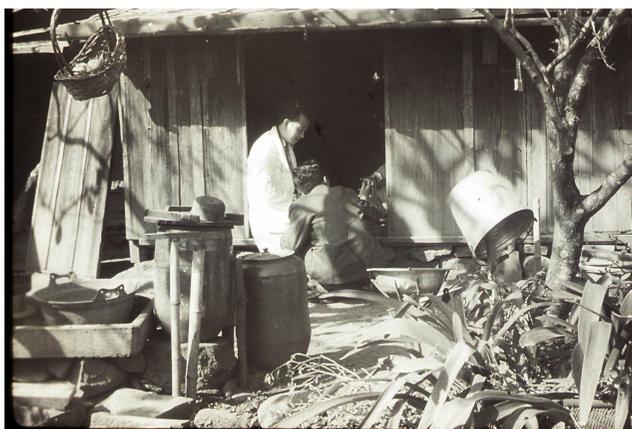
漁民たちの生活の窮迫



写真は原田正純先生

22

貧困と差別 —隠れる患者—



原田正純先生の患者宅訪問 1962年ごろ

21

熊本学園大学 現代に生きる水俣学
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

チッソはなぜ廃水を無処理で流したか
(1932年～1968年)

- ★ 毒物は薄めれば、無毒になる??
- ★ 水銀が猛毒であることは知っていた。
- ★ 戦前から何度も漁業補償を行っていた。
- ★ なぜ、規制がされなかったのか
 - ・ 漁民、漁村への差別の目、地方への差別の目

23

「原因究明」の虚構と被害の拡大

- ▶ 原因究明という名前の原因隠し
 - ☞ 原因が不明 ◁ 🐟🐟🐟
 - ☞☞ 原因物質が不明 ◁ MeHg
 - ☞☞☞ 原因の由来が不明 ◁ 🏭🏭
 - ☞☞☞☞ 原因物質と病気の因果関係が不明???
- ▶ すべてが、歴史に否定された

24

繁栄する水俣市



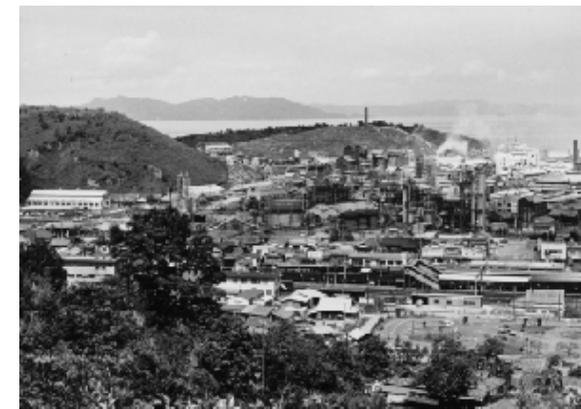
昭和35年 水俣チッソ工場 写真提供:小形(元チッソ労働者)

被害民の暮らしと闘いの足跡

- 貧困と見舞金契約
- 水俣病訴訟
- 認定を求める患者たち

25

チッソ水俣工場 1960年



チッソ水俣工場

昭和35年撮影、水俣市立水俣病資料館提供

27

一九五九年12月
患者家族の工場正門前座り込み



公害の原点、水俣病
患者は孤立していた

写真：熊本日日新聞

水俣病患者・住民の暮らし

30

水俣病事件の重要な時期：何が争われていたか1956年→1959年

発生の公式確認から原因究明

- 。1959年12月30日 見舞金契約
- ・原因は不明であるとの前提に立つ「見舞金」
- ・しかし、この時点では、原因ははっきりしていた。
- ・「将来、原因が工場排水と決定しても新たな補償要求はいっさいしない」
⇒ 仲介をしたのは、熊本県知事
- ・→ 水俣病訴訟（1973年3月判決）で「公序良俗に反する」として、無効。

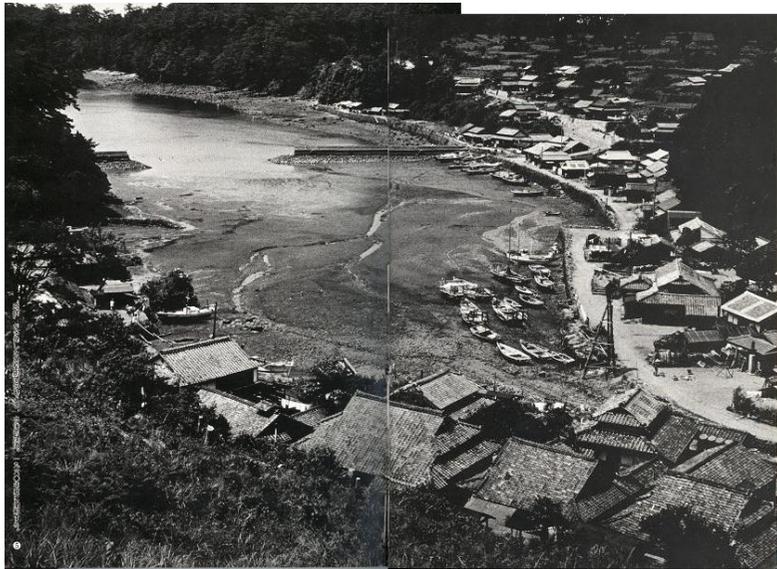
29

昭和30年頃の茂道湾



(佐藤さん提供) 31

水俣病患者・住民の暮らし



桑原史成写真集より

政府公式見解から
水俣病患者のたたかい（1969年～）
チッソ本社前座り込み



命を返せの叫び
チッソの責任：あやまれ
被害の償い



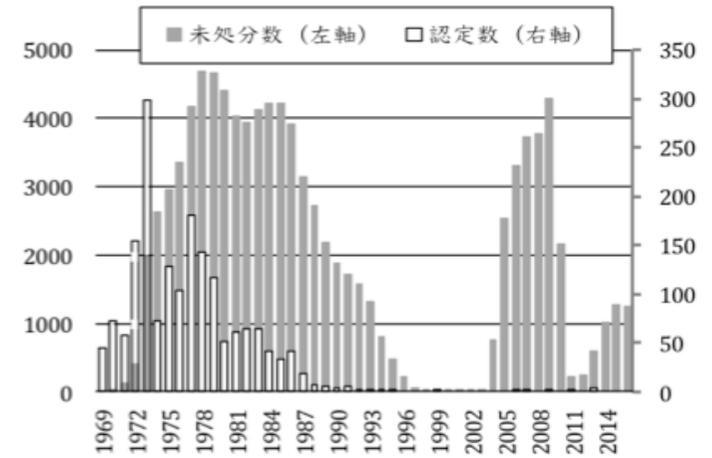
水俣病訴訟へ（1969年提訴）

- 1968年9月政府公式見解：
水俣病患者原告がチッソを相手に損害賠償請求訴訟
- 1973年 患者の全面勝訴
→ 補償協定書締結
- 行政認定を受けた者に適用
→ 未認定問題の浮上



水俣病についての行政の責任 (2004年10月最高裁判決：関西訴訟)

認定申請者数の推移



水俣病被害者数 2017年4月末現在

認定患者 (公害健康被害補償法)	2282
95年政治解決救済対象者	10353
2010年特措法救済対象者	53156
訴訟の和解などによる救済対象者	2849
認定申請者数 (未処分数)	2077
	70717

熊本県と鹿児島県の合計

水俣病を差別と人権の課題として考える 水俣病に対する差別の現状

- ◇ 水俣病患者に対する見下し、そして水俣病に対する忌避感
- ◇ 病者に対する差別
差別されてきた水俣病患者
結婚、就職での差別
「学校に行きたくなかった」
- ◇ 今日の「水俣病」に対する差別と偏見
そんなにしてまでカネが欲しいか
「水俣病、さわらな」2010年6月のサッカー事件

過去の失敗を将来に活かすために：いのちの尊厳

- ▶ いのちを大事にすること。いのちとは人の人生そのもののこと。ともに分かち合ういのち、ともに生きるいのち。いのちの尊厳には上下はない。
- ▶ しかし時代の波に巻き込まれて、いのちの価値を見失うときに、公害は起きるのだろう。

40

本年度の水俣学講義

水俣学の趣旨
現場に学ぶ 学問分野を越境する専門を超える

- 9月20日 「水俣学への招待」 花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部・水俣学研究センター）
- 9月27日 「県立新潟水俣病資料館の紹介」 塚田眞弘（県立環境と人間のふれあい館館長）
- 10月4日 「石牟礼道子のこと」 藤原良雄（株式会社 藤原書店 社長）
- 10月11日 「水俣の海に生きる」 鴨川強巳（漁師）、中村雄幸（中村鮮魚）
- 10月18日 「終わることのできない水俣病の今」 井上ゆかり（水俣学研究センター）
- 10月25日 「私と水俣病」 坂本龍虹（水俣病被害市民の会 代表）
- 11月8日 「水俣病と社会福祉（仮）」 田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター）
- 11月15日 「水俣病をとおして見えてきたもの」 村田三郎（阪南中央病院 副院長）
- 11月22日 「ひとり芝居 天の魚」 川島宏知（俳優）、白木喜一郎
- 11月29日 「水銀条約の今」 中地重晴（熊本学園大学社会福祉学部）
- 12月6日 「遅れて来た者の支援活動（仮）」 小坂勝弥（京都・水俣病を告発する会）
- 12月13日 「『司法による救済』を選択すること」 康 由美（大阪弁護士会）
- 12月20日 DVD上映 ＊ライブ中継は、ございません
- 2019年1月10日 「砂田明一人芝居からの始まり」 家中 茂（鳥取大学地域学部）
- 1月24日 「水俣病をめぐる課題と展望（仮）」 花田昌宣

42

歴史の重みと今日の課題：水俣学の構築へ

水俣学の構築と私達の取り組み
現場に学ぶ
専門家主義を排し、市民・研究者の協働
学問の「中立性」と被害民を真ん中に

41

まとめ

水俣学のWEBサイトで

水俣学アーカイブをみよう

水俣に学び、自分を振り返ろう。



43